

令和6年8月9日

ESG 投資を通じた環境問題等の解決に向けた取組みについて

～宮城県が発行するサステナビリティボンドに投資します～

学校法人菅原学園（理事長 菅原一博）は、このたび、宮城県が発行するサステナビリティボンド「宮城県公募公債第2回1号（5年・サステナビリティボンド）」への投資を決定いたしました。

サステナビリティボンドは、環境問題の解決に資するグリーンプロジェクト（海洋保護や持続可能な漁業等に資するブループロジェクトを含む）及び社会課題の解決に資するソーシャルプロジェクトの双方に充当される債券であり、資金使途が環境改善や社会的課題の解決に寄与する事業に限定されております。

本学においては、「キミに、いちからチカラを。CAREER COLLEGE」を教育理念に掲げ、公務員、コンピュータ、ミュージック、医療福祉、アニメ、ペット等の業界スペシャリスト人材を育成しておりますが、教育にとどまらず、本件投資を通じて持続可能な社会の実現に向けた宮城県の取組みを支援したいと考えております。

<本債権の概要>

銘 柄	宮城県公募公債第2回1号（5年・サステナビリティボンド）
年 限	5年
発 行 額	100億円
条件決定日	2024年8月9日